

平成20年6月11日

各 位

会社名 日東製網株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林宏明
(コード番号 3524 東証第1部)
問合せ先 総務部長 村松誠司
(TEL084-953-1234)

平成20年4月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年12月14日に公表いたしました平成20年4月期(平成19年5月1日～平成20年4月30日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年4月期 通期連結業績予想数値の修正(平成19年5月1日～平成20年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	14,000	600	450	200
今回修正予想(B)	14,800	630	270	170
増減額(B-A)	800	30	△180	△30
増減率(%)	5.7	5.0	△40.0	△15.0
(ご参考)前期実績 (平成19年4月)	14,546	516	368	△728

2. 平成20年4月期 通期個別業績予想数値の修正(平成19年5月1日～平成20年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,600	500	350	150
今回修正予想(B)	12,100	540	320	250
増減額(B-A)	500	40	△30	100
増減率(%)	4.3	8.0	△8.6	66.7
(ご参考)前期実績 (平成19年4月)	11,552	432	319	△899

3. 修正の理由

(1) 連結業績

当期の連結業績については、個別業績が当初予想を上回ったことで、売上高、営業利益は当初予想を上回る見込みとなりました。しかし、営業外損益では、前期54百万円の為替差益が、当期は急激に円高が進行したことから134百万円の為替差損の計上となり、営業外損失が増加したことで、経常利益は当初予想を下回る270百万円となる見込みです。また、特別利益として有価証券売却益等で20百万円計上し、特別損失として貸倒引当金繰入額等で68百万円を計上する見込みとなりましたが、法人税、住民税及び事業税が当初予想をやや下回ったこと及び法人税等調整額を計上することで当期純利益は、当初予想をやや下回る170百万円の見込みとなりました。

(2) 個別業績

当期の個別業績は、当社主力製品である定置網部門の売上高が上半期好調であったこと、下半期は、養殖用イケス網及び旋網の売上高が伸びたことで、売上高、営業利益とも当初予想を上回る見込みとなりました。しかし、前期は32百万円の為替評価益が当期は急激な円高が進んだ影響により48百万円の為替評価損となったことから経常利益は320百万円と当初予想を下回る見込みとなりました。

特別利益として投資有価証券の売却益、投資損失引当金戻入益により58百万円計上し、特別損失として貸倒引当金繰入額、固定資産除却損等により74百万円計上することとなりましたが、法人税、住民税及び事業税が当初予想を下回る見込みとなったこと及び法人税等調整額の影響により、当期純利益は250百万円と当初予想を上回る見込みとなりました。

以上